

令和5年9月18日

## 研究協力へのお願い(依頼書)

研究協力者様

研究課題名：COVID-19 流行下での面会制限強化によって生じる看護上のジレンマ

研究期間：承認日～令和6年3月31日

私はJCHO中京病院NICCU所属の後藤彩と申します。この度はご多忙の中本研究の依頼書に目を通して頂きありがとうございます。

今回私はこの研究を通して、COVID-19流行を受けて生じた厳しい面会制限と、その狭間で母子分離や家族看護の在り方について悩む看護師の精神的な負担の理解を深め、軽減させる事が出来ればと考えております。そのため、まず面会制限によって生じた看護上のジレンマ・NICCUという先天性心疾患児をケアする特殊部門の看護師が持つ思いを具体的に明らかにしたいと考え、下記に示す研究に取り組んでおります。

ご多忙の中と存じますが、調査にご協力頂ければ幸いです。

### I.研究目的：

COVID-19流行下に伴うNICCUでの面会制限によって生じる看護上のジレンマの内容を明らかにする

### II.研究方法：

- ①研究に参加下さる場合には、別紙アンケート用紙への回答をお願いします。
- ②アンケート記入が終わりましたら、アンケート用紙と共に配布した封筒に入れて、NICCU内所定の回収袋に入れて下さい。
- ③アンケート内容から五件法での得点から数値での分析、自由記載からの情報をカテゴリー化する事での情報分析を行います。

### III.倫理的配慮：

本研究は中京病院における研究倫理審査にて承認を受けたのち実施しています(承認番号： )。

あくまで研究協力は自由意志によるものであり、もし答えたくない質問があれば、その質問は答えなくてもよいこと、研究に協力しなくても何ら不利益は被らないことを保証します。質問紙に回答・提出をもって、本研究に同意していただいた事とさせていただきます。尚、今回の研究での質問紙は無記名のため、同意をして提出いただいた後での撤回は困難となるため、ご了承ください。

研究協力者様にもたらされる不利益としては、質問紙の回答に20分程度を要し時間的拘束が生じると考えられます。しかし、貴重なデータとなるためご協力いただければありがたく思います。

結果は研究以外に使用せず、得られたデータはパスワードでロック管理をして厳重且つ情報漏洩にも十分注意を払い、データは研究終了時に破棄します。質問には研究代表者が必ず対応、返答を迅速に致します。

研究代表者：後藤 彩

独立行政法人 地域機能推進機構 中京病院 NICCU 所属 看護師

連絡先：goto-aya@chukyo.jcho.go.jp 内線：3360

共同研究者：青山 愛、佐伯 梨也子